



SHALOM-NETWORK

発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>
E-mail info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

「ひまわり感謝祭」準備が急ピッチで進行中！

ご参加お待ちしております

A・O・Zで
十二月十二日(土)開催！

今年も年末を迎え、「ひまわり感謝祭」の準備が進められています。一年間の「ひまわりプロジェクト」の報告と全国の福島を支援する方々との交流の場として開始した「ひまわり感謝祭」も第五回を迎えます。震災と原発事故から五年が過ぎようとしています。

福島から食用ひまわりの種を全国の支援者の皆さんに送り、収穫した種を福島へ送り返してもう一つこの種を搾り、ひまわり油「みんなの手」は完成します。障がい者施設の皆さんの手により丁寧に仕上げられ全国に発送させていただきます。このひまわりを介して行われる福島と全国を結ぶ交流事業「ひまわりプロジェクト」は、本年度のグッドデザイン賞にも選ばれました。

各方面からの注目を集める「ひまわりプロジェクト」のこれまでの成果と今後への課題を考えるため、今年度のひまわり感謝祭の特別企画として「ひまわりプロジェクト・地域間交流フォーラム」が企画されています。フォーラムには、「子どもひまわり大使」の受入を地

域ぐるみで行う笠岡市を代表して竹原氏に「ひまわりが繋ぐ地域間交流の成果と課題」と題して基調報告をしていただきます。そのほかにも、北海道、神奈川、九州より地域ぐるみで取り組んでいる方々をパネリストに予定しています。来年以降の「ひまわりプロジェクト」に向けてその意義を皆さんとともに共有できることを願っています。

「二〇一五ひまわり感謝祭 & 共に生きる仲間たちのコンサート」というタイトルが示すように、大きく「ひまわり感謝祭(第五回)」と「共に生きる仲間たちのコンサート(第十九回)」という二つのイベントにより構成されています。今年のイベントの内容を左記にまとめました。

これらのほかにも、子どもひまわり大使に参加した子どもたちを中心に、子どもたちの交流広場なども計画されています。内容盛り沢山で一年間の成果を確認し合いながらみんな楽しんでイベントにしたいとスタッフ一同がんばっています。準備から参加できるボランティアさんも大募集しています。活動報告展示のために各地でも取り組んでくださっていることと思います。

(T・O)

ひまわり感謝祭 2015

- ① 第 19 回 共に生きる仲間たちのコンサート
13:00 ~ 15:00
第 1 部 なおこバンドとその世界
第 2 部 仲間たちのオンステージ
- ② 県内外市民活動団体、NPO 活動紹介展示
- ③ 授産製品等展示即売会
- ④ シャロームの各種活動報告
・ひまわりプロジェクト
・子ども保養プログラム
・ふくしま公園測定プロジェクト
②③④は 10:00~16:00
- ⑤ ひまわりプロジェクト地域間交流フォーラム
10:00 ~ 12:00



参入のメモ帳

十月二十六日、大玉村とマチュピチュ村が友好都市となった。福島とはちようど地球の裏側に位置する南米ペルーの空中都市、世界遺産マチュピチュ遺跡。古代へのロマンを感じさせる。現代文明を当たり前として生活している私達には不思議な世界に思えるが、そこには古代から連なる文化と生活が息づいている。

なぜ、そんな山の頂上に街を作ったのか。どうやって食料や水を確保できたのか。どれだけの人が関わり、どうやって作っていたのか。エジプトのピラミッドにも通じる疑問が頭を駆け巡る。この不思議が古代へのロマンへと繋がる。そこには、現代より高度の英知を花開かせた文明があったのでは？それはなぜ滅んだのか？

私たちの身近な人たちの三代の歴史が今回の縁を繋いでいる。戦前戦後の混乱期に村長を務めたマチュピチュを世界に紹介した野内与吉さん、実家を守る野内夫妻、日本で生活する孫の与四郎さん、地元の講師をお願いし八年の時間が経過した。一人一人の生きた証として歴史を紡ぎ、新たな歴史を開いていく。

古代から連なる人々の営みのうちに歴史はあり、それを交流によって理解し合っていくことから新たな歴史は生まれる。「空中都市」は、現代文明を見直す視点を与えてくれるのではないだろうか。

(T・O)